

ふるさと 訪ねある記

50



おどり ねんぶつ 踊念仏の石碑 (南方)

踊念仏の石碑は、南方の板倉地区に建つ高さ102センチの自然石の石碑で、石面には、「30人余りの人が死者の成仏と極楽での楽しい生活を願ひ、48日間集団で踊り念仏を唱えた」という意味の文字が刻まれています。

踊念仏は、鎌倉時代中期の僧で浄土教の時宗開祖、一遍上人が行った布教の方法で、太鼓やかねなどを打ち鳴らし、踊りながら念仏や教えを唱えるものです。その起源は平安時代中期にあるといわれ、盆踊りや歌舞伎踊りなどにも大きな影響を与えました。

一遍は各地を巡り布教を続け、踊念仏で死者の魂の鎮魂や供養をし、浄土教の庶民化に尽くした人物です。

建立は鎌倉時代の正安2年(1300)に行われ、時宗成立初期のものといわれています。県内各地に時宗の寺院や遺跡は多く存在しますが、その多くは南国朝や室町、戦国時代のものです。この石碑は一遍が奥州で浄土教を広めた様子が刻まれている、貴重な歴史的資料となっています。

【ふるさと訪ねある記は今月号で最終回となります】

【所在地】 登米市南方町板倉地内

【問い合わせ】 登米市南方庁舎 地域生活課 ☎0220 (58) 2112

一遍は各地を巡り布教を続け、踊念仏で死者の魂の鎮魂や供養をし、浄土教の庶民化に尽くした人物です。

建立は鎌倉時代の正安2年(1300)に行われ、時宗成立初期のものといわれています。県内各地に時宗の寺院や遺跡は多く存在しますが、その多くは南国朝や室町、戦国時代のものです。この石碑は一遍が奥州で浄土教を広めた様子が刻まれている、貴重な歴史的資料となっています。

【ふるさと訪ねある記は今月号で最終回となります】

歴史博物館

広報ミニ展示室 37

＝「貞享年間佐沼要害絵図」＝

要害とは城を守ることで、天正19年、(1591)以降、戦国時代の城や館が豊臣政権において修復され仙台藩に渡されました。佐沼城は秀吉の小



当時の佐沼城の様子が描かれています

田原攻めの後、徳川家康によって改修され、政宗の重臣であった湯目景康(のちに津田)が1500石で拝領しました。景康は同年に市町、その後の寛文2年(1662)までに五日町、八日町をつくり、宿場佐沼町をつくり上げました。この絵図は貞享年間(1684～87)のものといわれ、佐沼城の居所(のちに本丸)を中心として、周辺の堀の深さや樹木の高さ、目的地点までの距離など、さまざまな測量のデータが書かれた絵図となっています。

チャチャワールドいしこし

ゴールデンウィークイベント情報



【ゴールデンウィークイベント】

- ☑ 5/3 (祝) 侍戦隊シンケンジャー ショー
- ☑ 5/4 (祝) それいけ!アンパンマン ショー
- ☑ 5/5 (祝) レスキューファイアー ショー

※ショーの上演時間は午前11時から午後2時からの予定です(2回)
※ご覧になる人は敷物(レジャーシートなど)の用意をお勧めします

【営業時間】 [4月～9月] 午前9時30分～午後5時
[10月～3月] 午前9時30分～午後4時

【休園日】 毎週火曜日
※火曜日が祝日の場合は翌平日が休園日となります
※冬期休園期間 12月24日から3月第1日曜日前日まで

【問い合わせ】 チャチャワールドいしこし ☎ 0228 (34) 2221

大人(高校生以上) 320円
小人(小・中学生) 110円
※団体8人以上は割引料金になります(大人290円・小人100円)
※毎月第2土曜日は「登米市民デー」で入園無料となっています



モバイルとめ
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)